

令和2年7月14日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：慢性膵炎に伴う膵管狭窄に対する内視鏡治療の有用性に関する臨床研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1．研究の対象

1992年1月1日から2020年3月31日までに慢性膵炎膵石症と診断され体外衝撃波結石破砕療法や内視鏡治療を受けた人と、その中で膵管狭窄に対して内視鏡治療を受けた方です。

2．研究目的・方法・研究期間

慢性膵炎は進行すると膵石や膵管狭窄により疼痛のほか体重減少や糖尿病に繋がる可能性のある疾患です。膵管狭窄に対して内視鏡による治療の方法や長期経過に関しては、まだはっきりとしたことはわかっていません。そこで慢性膵炎膵石症を体外衝撃波結石破砕療法と内視鏡治療を行った方で、膵管狭窄に対して内視鏡治療を受けた方の長期経過を解析することで、治療による進展予防の有用性が証明され、しいては慢性膵炎の生活の質の改善につながることを期待できます。方法としては、当院で体外衝撃波結石破砕療法や内視鏡治療を受けた患者さんのデータを集めて解析します。研究期間は倫理審査委員会承認日から2024年12月31日までです。

3．研究に用いる試料・情報の種類

カルテからの情報：年齢、性別、膵石の性状、膵臓の性状、内科的治療の成績（膵石消失の有無、偶発症の有無、再発の有無、再発までの機関、手術移行の有無、手術までの機関）、内視鏡治療の内容、膵管狭窄に対しての内視鏡治療の内容、治療成績、偶発症、再発率、長期経過、手術移行率、等

4．外部への試料・情報の提供

外部への資料・情報の提供はありません。

5．研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学ばんだね病院消化器内科 講師 山本智支

6．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学ばんだね病院 消化器内科

講師：山本智支（やまもと さとし）

TEL：052-323-5646 FAX：052-323-9886